

平成 2 8 年 第 7 回

印西市教育委員会定例会会議録

平成 2 8 年 7 月 1 4 日 (木)

平成28年第7回印西市教育委員会定例会会議録

日時：7月14日(木)午後2時

場所：印西市役所4階41会議室

1. 開 会
2. 開 議
3. 議事日程の報告

(議事日程)

日程第 1 委員長が指名する会議録署名委員の指名

日程第 2 会期の決定

日程第 3 教育長報告

日程第 4 議案第1号

平成28年度教育費補正予算案について

日程第 5 議案第2号

平成29年度使用教科用図書の採択について

日程第 6 その他

4. 閉 議
5. 閉 会

出席委員(5名)

1	番	委 員	大 野 忠 寄
2	番	委 員	青 山 光 男
3	番	委 員	寺 田 充 良
4	番	委員長	佐 藤 めぐみ
5	番	教育長	大 木 弘

欠席委員(なし)

説明のため出席した職員(6名)

教 育 部 長	小 山 健 治
教 育 部 参 事 (教育総務課長事務取扱)	山 崎 剛
学 務 課 長	坂 木 武 伸
指 導 課 長	野 田 幸 一
生 涯 学 習 課 長	飯 島 伸 一
ス ポ ー ツ 振 興 課 長	篠 原 信 一

職務のため出席した職員(2名)

教 育 総 務 部  
政 策 主 幹 岩 井 大 治

教 育 総 務 課  
総 務 班 主 任 主 事 木 村 裕 子

(14時04分)

(開会の宣告)

佐藤委員長

ただいまから、平成28年第7回印西市教育委員会定例会を開会いたします。

(開議の宣告)

佐藤委員長

これから、本日の会議を開きます。

(議事日程の報告)

佐藤委員長

本日の議事日程については、お手元にお配りしたとおりです。ご了承願います。

(会議録署名委員の指名)

佐藤委員長

日程第1 会議録署名委員の指名を行います。

本日の会議録署名委員は、会議規則第31条の規定により、1番、大野委員を指名いたします。お願いいたします。

(会期の決定)

佐藤委員長

日程第2 会期の決定を行います。

本定例会の会期は、会議規則第4条の規定により、本日1日とします。

(教育長報告)

佐藤委員長

日程第3 教育長報告を行います。

大木教育長。

教 育 長

それでは、お手元の資料に基づいて教育委員会の活動報告をいたします。

6月16日木曜日、第1回社会教育委員会議が中央公民館で行われ、出席してまいりました。

17日金曜日、平成28年度合同学習会、三部会ふれあい運動会が、松山下公園総合体育館であり、出席してまいりました。

同日、視聴覚ライブラリー運営委員会が中央公民館で行われました。

また、その日の夕方、印西市学校運営研修会開講式が牧の原小であり、出席してまいりました。

18日土曜日、平成28年度印西市P T Aバレーボール大会が松山下公園総合体育館で開催されました。

20日月曜日、目標申告教育長面接、校長の目標申告教育長面接が行われました。

21日火曜日にも目標申告教育長面接が市役所で行われました。

23日木曜日、北総教育事務所次長訪問が滝野中、木刈中で行われました。

同日、印西市立図書館協議会、文化ホールで開催されました。

同日、印西市文化ホール運営会議が文化ホールでございました。

24日金曜日、JICAボランティア派遣に伴う市長表敬訪問ということで同席いたしました。マダガスカルに行かれる方でもございました。

同日、印西市交通安全対策会議が文化ホールであり、出席してまいりました。

25日土曜日、第35回みなづき祭が中央公民館で26日までの予定で開催されました。

27日月曜日、印旛歴史民俗資料館運営委員会が同資料館で開催されました。

7月1日金曜日、千葉県都市教育長協議会第2回役員会、全体会、分科会、情報交換会が千葉市であり、出席してまいりました。

2日土曜日、社会を明るくする運動・青少年健全育成大会が文化ホールであり、委員の皆様にご出席いただきました。ありがとうございました。

また同日、第67回印旛郡市民体育大会総合開会式が八街市であり、出席してまいりました。

4日月曜日、北総教育事務所所長訪問が内野小学校、小倉台小学校でございました。本年度最後の訪問ということになります。

6日水曜日、第3回市校長会議が原山小学校でありました。

7日木曜日、教育振興基本計画（文化芸術編）検討委員会が文化ホールで開催されました。

また同日、同じく教育振興基本計画（生涯学習編）の検討委員会が文化ホールで開催されました。

8日金曜日、第2回教科用図書印旛採択地区協議会が白井市で開催され、委員長とともに出席してまいりました。

同日、スポーツ推進審議会が松山下公園総合体育館で開催されました。

11日月曜日、印旛明誠高校の生徒のインターハイ出場選手の表敬訪問が行われました。2名です。陸上の800メートルと、あとは棒高ですね。全国の棒高の大会に女子が参加をするということで表敬訪問がありました。

13日水曜日、第4回市教頭会議が教育センターでございました。

14日木曜日、大森小学校創立記念式典が大森小学校で開催され、出席をしてまいりました。

同日、第7回教育委員会定例会が市役所で開催されております。

続いて行事予定でございます。

7月15日金曜日、学校給食センター運営委員会が高花学校給食センターで開催されます。

同日、教育振興基本計画（学校教育編）検討委員会が市役所で開催されます。

17日日曜日、第67回印旛郡市民体育大会の激励ということで、印西市、白井市の会場に行くことになっております。委員の皆様についてもご参加よろしくお願いたします。

19日火曜日、総合計画策定本部会議が市役所で開催されます。

22日金曜日、第2回印旛地区教育委員会連絡協議会定例常任委員会及び第2回印旛地区教育長会議が、佐倉市で開催されます。

また同日、平成28年度教育印旛の会が成田市で開催されます。

30日土曜日、平成28年度青少年ふれあいキャンプ開村式が平岡自然の家でございます。

8月に入りまして5日金曜日、第8回目の教育委員会定例会を開催する予定でございます。

以上でございます。

ただいまの報告について、質疑はありませんか。

なし

これで日程第3 教育長報告を終わります。

日程第4 議案第1号 平成28年度教育費補正予算案についてを議題とします。

提案理由の説明を求めます。

教育総務課長。

それでは、議案第1号 平成28年度教育費補正予算案について。

平成28年第3回印西市議会定例会に提出する平成28年度教育費補正予算案について、別紙のとおり市長に申し入れる。

平成28年7月14日提出。

印西市教育委員会教育長、大木弘。

それでは、まず補正予算案の概要につきましてご説明した後、詳細について各課から説明させていただきます。

補正予算案をご覧いただきたいと思っております。今回の補正予算でございますが、歳入歳出予算の補正と債務負担行為の2つの内容となっております。

まず1つ目の歳入歳出予算の補正でございます。歳入ではスポーツ振興くじ助成金の決定に伴います88万2,000円の減額補正でございます。

引き続きまして歳出でございますが、合わせまして6,887万5,000円の増額補正となっております。

内訳を申し上げます。まず2項、小学校費で4,690万6,000円の増額補正でございます。1目、学校管理費の小学校施設整備改修事業（一般事業）で業務委託料1,782万円、小学校管理運営に要する経費で委託料99万2,000円と備品購入費2,628万4,000円、これを合わせまして2,727万6,000円。2目、教育振興費の教材整備に要する経費で備品購入費181万円でございます。

佐藤委員長  
各委員  
佐藤委員長  
(議案第1号)  
佐藤委員長

教育総務課長

次に、3項、中学校費で1,279万円の増額補正でございます。1目、学校管理費の中学校管理運営に要する経費で、委託料34万3,000円と備品購入費1,136万1,000円、合わせまして1,170万4,000円。2目、教育振興費の教材整備に要する経費で備品購入費108万6,000円でございます。

次に、6項の保健体育費です。917万9,000円の増額補正となっております。2目、体育振興費の社会体育施設維持管理に要する経費、こちらにつきましては財源補正でございます。3目、学校給食費の高花給食センター事業で事業費508万8,000円、使用料及び賃借料216万8,000円、備品購入費192万3,000円でございます。

続きまして、債務負担行為でございます。こちら、債務負担行為につきましては印西市外国語指導助手派遣業務、いわゆるALTでございますけれども、こちらにつきましては限度額1億5,788万6,000円以内で平成28年度から平成31年度までの4年間、実質的な委託期間については平成29年度から3年間でございますけれども、この業務委託を行うことにつきまして債務負担行為を設定するものでございます。

それでは、詳細につきましては、補正予算書及び審議資料に基づきまして各課長から説明させていただきます。

佐藤委員長  
スポーツ振興課長

スポーツ振興課長。

スポーツ振興課でございます。

議案第1号の審議資料1の1ページのほうをお願いいたします。平成28年度歳入歳出補正予算についてご説明させていただきます。

初めに、歳入の20款、諸収入、5項、雑入、2目、雑入のスポーツ振興くじ助成金でございますが、トラック競技の速報表示器を購入するため440万6,000円の助成金を申請しておりますが、交付額が352万4,000円に決定されたため、88万2,000円の減額補正をするものでございます。

続きまして、関連がございますので歳出についてご説明のほうをさせていただきます。

3枚ほどめくっていただきまして資料1-6ページのほうをご覧くださいませか。トラック競技速報表示器を購入する事業費550万8,000円の補正はございませんが、スポーツ振興くじ助成金88万2,000円の減額に伴いまして財源補正を行うものでございます。財源補正内訳の下の表をご覧くださいと思います。財源内訳につきましては国県支出金、地方債、その他、一般財源がございまして、スポーツ振興くじ助成金はその他に該当し88万2,000円の減で、予算額440万6,000円から見込み額352万4,000円となります。それに伴いまして一般財源が88万2,000円の増で、予算額110万2,000円から見込み額198万4,000円となります。事業費の見込み額550万8,000円に変更はございません。

説明は以上でございます。

佐藤委員長  
教育総務課長

教育総務課長。

それでは、審議資料1-2ページに戻っていただきまして、教育総務課

分をご説明いたします。

2項、小学校費、1目、学校管理費の小学校施設整備改修事業（一般事業）でございます。千葉ニュータウン中央駅南側の中央駅南、戸神台、武西学園台、これら各地区につきましては、マンション等の宅地開発によりまして小倉台小学校の児童数が増加している状況でございます。この児童増に対しまして現在は、校舎のオープンスペースを活用して教室数をふやして対応しているところでございますけれども、平成30年度には教室が不足する見込みとなっております。このようなことから平成29年度には、学校敷地内に新たに校舎の増築工事を実施する必要がありますので、このための設計業務委託費と地質調査費、合わせて1,782万円の増額補正を行うものでございます。なお校舎増築の配置場所の検討等につきましては、後ほど日程第6のその他のところでご説明させていただきます。今回につきましては補正予算額ということでよろしく願いいたします。

以上でございます。

学務課長。

学務課関係についてご説明いたします。

資料1-3ページ目をお開きください。学校管理費、小学校管理運営に要する経費として、2,727万6,000円を増額補正するものでございます。補正理由としましては、平成29年度に学級増が見込まれる小学校について必要となる庁用備品及び校務用パソコンの設定委託を、今年度中に準備するため。また、現場学習時の移動手段として使用する民間バスの貸切輸送業務委託費用の不足のためでございます。ちなみに、小学校で学級増が見込まれる学校については、内野小学校、高花小学校、小倉台小学校、原小学校で、合計10学級の増となります。

続いて、教育振興費、教材備品に要する経費でございます。181万円を増額補正するものでございます。理由といたしましては、同じように学級増が見込まれている小学校について必要となる教材備品を、今年度中に準備するためということでございます。

次に、1-4ページ目をお開きください。中学校費でございます。学校管理費、中学校管理運営に要する経費として1,170万4,000円を増額補正するものでございます。理由としましては、やはり29年度に学級増が見込まれる中学校について必要となる庁用備品及び校務用パソコンの設定委託を、今年度中に準備するためでございます。増える学校につきましては、印西中、原山中、木刈中、西の原中学校で、合計6学級増ということでございます。

続いて、中学校費の教育振興費、教材整備に要する経費として108万6,000円を増額補正するものです。理由としましては、同じように学級増が見込まれる中学校について必要となる教材備品を、今年度中に準備するためでございます。

佐藤委員長  
学務課長

佐藤委員長  
指導課長

以上でございます。

指導課長。

それでは、1-5ページをご覧ください。指導課の増額補正のご説明でございます。いずれも高花給食センター事業でございます。最初は11節、需用費の光熱水費の水道料金でございます。金額は508万8,000円の増額補正でございます。補正理由は、5月9日に発生しました赤ダニにつきまして除去のための水の入れかえ、排出を行ったことによる、使用水道料の増加によるものでございます。

続きまして、14節、使用料及び賃借料の下水道使用料金の増額補正でございます。金額は216万8,000円でございます。補正理由は同じように赤ダニ除去のための水の入れかえ、排出を行ったことによる下水道使用料金によるものでございます。

続きまして、18節、備品購入費の給食用備品の購入の増額補正でございます。金額は192万3,000円でございます。29年度の学級増に対応するため小倉台小学校と原小学校に、それぞれ牛乳保冷庫を1台ずつ購入するためでございます。

続きまして、1-7ページをご覧ください。債務負担行為になります。印西市外国語指導助手派遣業務委託の債務負担行為でございます。金額は1億5,788万6,000円でございます。本業務は、印西市立小・中学校30校と幼稚園における、外国語指導助手11名の派遣に要する経費でございます。今年度中にプロポーザル方式により業者を選定するために債務負担行為を必要といたします。派遣は平成29年度から31年度までの3年になります。

以上でございます。

佐藤委員長

これから質疑を行います。質疑はありますか。

青山委員

青山委員。

外国語指導助手派遣の業務委託なんですけれども、これは契約は3年ぐらいの幅で行うんですか。今の業者さんには同じような額なんでしょうか。

佐藤委員長  
指導課長

指導課長。

今も3年契約で行っております。今の業者さんは業務委託という形態になりますので、もう少し金額は少なくなりますが、昨今言われておりますように、授業の中で直接指導するためには派遣契約を結ばないとできませんので、その部分の年間1人40万円増になるものを計上しまして、年間440万円の増額で載っております。

佐藤委員長  
青山委員

青山委員。

そうすると今までの委託内容とこれから契約しようとする内容については、現場の立場からするとどういふところの変更が見られるんでしょうか。

佐藤委員長

指導課長。

指導課長 現在は、委託契約ですので学校から直接の指揮命令権がなく、スケジュールプランを会社に送ってそのプランに沿って授業を行うと、チームティーチングはできません。派遣業務委託になりますと学校からの直接の指揮命令が可能となり、授業中にチームティーチングが可能となります。

佐藤委員長 青山委員。

青山委員 はい、わかりました。多少お金のほうが余計にかかりますけれども、やはり学校現場の事情等に合わせてそういった指導をしていただけるほうが子供たちのためにもなりますし、現場の先生方も非常に助かるんじゃないかと、大変ありがたい内容だなと思いますので、私は進めていただきたいと思うものです。

佐藤委員長 ほかに質疑はありませんか。

大野委員 大野委員。

大野委員 1-2ページで、小倉台小学校の増築工事の設計業務委託、地質調査委託ということで、こちらのほうは業者の選定は入札方式で行うのか、それから、現時点ではなかなか難しいでしょうが、プレハブという話も聞いておりますので、ある年数を過ぎた後の今回増築を考えている部分の使用目的等々というふうなことは、現時点ではおおむねわからないんだろうと思いますが、わかる範囲で結構です。よろしくお願いします。

佐藤委員長 教育総務課長。

教育総務課長 この設計業務については、入札方式は指名競争入札になるかと思いますが、入札で行うという予定でございます。

それから増築のプレハブの使用でございますが、現在、教室8教室分を見込んでおります。こちらにつきましては、状況を見ながら教室あるいは集会スペースといいますか、会議室的なもの等に使っていきたいと考えています。いずれにしても状況を見ながら有効に活用していきたいというふうに考えております。

大野委員 わかりました。

佐藤委員長 ほかに質疑はありませんか。

寺田委員 寺田委員。

寺田委員 赤ダニの問題なんですけれども、これは予算のほうはこれで結構なんですけれども、原因はある程度把握できたんでしょうか。

佐藤委員長 指導課長。

指導課長 原因は、当初から言われておりました受水槽近辺に異常に大量発生しまして、金網が網戸の目の大きさだったものですから、そこからの侵入によるものということで、そこを補強しましたところ、それ以後、侵入はございませんでしたので、来年度はそういうことがないようにしっかり取り組みたいと思います。

以上でございます。

佐藤委員長 寺田委員。

寺田委員 多分、来年も発生期は同じころだと思うので、よろしくお願ひします。

佐藤委員長 青山委員。

青山委員 スポーツ振興課さんのところでお聞きしたいんですけども、トラック競技の速報表示器というのは今までもあったような印象があるんですけども、あれとは違うんですか。

佐藤委員長 スポーツ振興課長。

スポーツ振興課長 今までは、年四、五回、業務委託で賃借というような形で借りていたんですが、もう大分たっていますので、t o t oのくじ助成金のほうを活用いたしまして購入というような形になったと聞いております。

佐藤委員長 青山委員。

青山委員 今までのあれはレンタルだったんですか。わかりました。

佐藤委員長 ほかに質疑はありませんか。

各委員 なし

佐藤委員長 これで質疑を終わります。

議案第1号 平成28年度教育費補正予算案についてを採決いたします。

お諮りいたします。

議案第1号 平成28年度教育費補正予算案については、原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

各委員 異議なし

佐藤委員長 異議なしと認めます。

したがって、日程第4 議案第1号 平成28年度教育費補正予算案については、原案のとおり可決されました。

(会議の非公開)

佐藤委員長 日程第5 議案第2号につきましては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項及び第8項、並びに印西市教育委員会会議規則第12条第1項の規定により、会議を非公開といたしますが、ご異議ございませんか。

各委員 異議なし

佐藤委員長 異議なしと認めます。

それでは、これより会議を非公開といたします。

なお、会議の結果につきましては、9月1日以降に公表できるものいたします。

〔非公開により省略〕

佐藤委員長 以上で、会議の非公開を終了いたします。

学務課長 学務課長。

学務課長 すみません、先ほどお話がありましたが、選定結果等については8月

31日まで非公開となっております。公開は9月1日以降ということになっておりますので、ただいまお配りした資料については、この会議終了後に回収させていただきますので、ご協力をお願いしたいと思います。

以上です。

(その他)

佐藤委員長

続きまして、日程第6 その他について、何かございますでしょうか。

教育総務課長。

教育総務課長

それでは、教育総務課からは2点でございます。

まず、1点目がこちら、報告させていただきました平成28年第2回印西市議会定例会、6月定例議会につきまして、教育部にかかわります質問が、お配りしてあるとおりの質問と回答用紙が付されております。こちらのほう、ご確認いただきたいというふうに思います。こちらが1点でございます。

あと、2点目につきましては、小倉台小学校増築配置案といたしましてこちらの資料でございます。こちらのほうをご説明させていただきますので資料をご覧いただきたいといたします。

小倉台小学校の大規模改修といたしまして、これまで東京電機大学の施設を活用することですとか、東京電機大学周辺の市街化調整区域の検討ですとか、小倉台小学校に隣接する公園の活用の可能性などにつきまして、これまで検討してきたところでございます。ただ、昨年度行いました児童・生徒数の推計結果によりますと、先ほど補正予算の中でもありましたとおりの、平成30年度には教室数が不足してまいります。したがって平成29年度には増築工事をしなければならないという検討速度でございますので、これらの状況から、小倉台小学校の敷地におきまして校舎を増築していくという方向をとらざるを得ないということでございますので、こちらにつきまして、現在の敷地からどこに校舎を増築する配置案が一番望ましいかというところを、検討したところでございます。資料をご覧いただきますと、おおむね考えられるところは5案、5つほど記してございます。順番に簡単にご説明いたします。

まず、1案につきましては、現在ビオトープが配置されているところでございます。こちらにつきましては、コメントで書いてございますとおりのビオトープの撤去が必要なところがございます。ただ、既存施設への移動が容易であるというようなことがございます。

2案につきましては、校舎の南側というところでございます。こちらにつきましては、既存の1年生・6年生の教室と近いということもございます。こちらの状況は、増築いたしますと既設の1年・6年生の教室等が多少採光等、明かりが暗くなるというようなことがございます。ただ、1案と同様に既存の施設への移動が容易だということでございます。

それから、3案でございますが、こちらはグラウンドの一部を使用す

る案ということでございますので、校庭が狭くなるというところがございます。また、給食の配膳室を確保する必要がある場合がございます。給食配送車については道路面、グラウンド側から入ってくるような形をとらざるを得ないということで、施設的には配膳室が必要となってまいります。

それから4案でございますが、こちらもグラウンドの一部ということですので校庭が狭くなるというところがございます。それから、既存の校舎、施設からの渡り廊下、通路が必要となってまいるといような状況がございます。

それから、5案につきましては同じでございますが、校庭が狭くなるということと、遊具の撤去が必要になってまいります。それから4案と同じように給食の配膳室の設置が必要となってまいります。

このようなものが、ざっとその案の特徴、コメントでございますが、今後、校舎の配置場所を検討していくに当たりまして、これらの状況からポイントとするべきところは、まず増築校舎を使用する期間は、おおむね推計によりますと5年程度というふうに推定されておりますが、この間の学校生活が快適に送れるように、増築校舎を配置していくところを基本としながら、その間、グラウンドのその他の施設、そちらが著しく低下しないこと、プレハブが必要となくなるときに原状に戻しやすいような配置場所、こういったことに配慮するという、それから増築校舎の工事費でございます。こちらについては現在は8教室分のスペースと、それから昇降口、トイレ、こちらがほぼ同一条件として必要な共通のものというふうに考えております。

ただ、その案で、先ほど申し上げましたとおり渡り廊下ですとか配膳室、こういったところが必要になっている案がございます。当然のことながらこちらが必要となれば経費もかかってまいりますので、このような工事費がかかってこないような形で増設をする、このような観点を、配置場所の検討においてのポイントというふうに考えてございますが、このような状況から現時点で教育委員会事務局といたしましては、2案の校舎の南側、こちらに配置するような考え方で現在、方向性として進めようと思っております。こちらについても、ご意見などいただければと思っております。

説明は以上でございます。よろしくお願ひします。

佐藤委員長

ただいまの件につきまして、質疑はありませんか。

大野委員。

大野委員

拝見いたしまして3、4、5案、こちらのほうですと運動場にかかるような状況になりますと、これから子供たちが増加する中で体育施設等を含めて、やはりこちらに建設を案として持っていくのは、ちょっとデメリットがあるのではないかと考えますので、できましたら1案、2案が、こちらのほうもビオトープというような癒しの場ですよね。そういうところも残していただければと、ちょっと私どもは考えたほうが良いと思

います。2案は、お話を聞きましたら畑という立地になっているようですので、有効利用するのはこちらのほうかなというふうに考えますので、どうぞよろしく願いいたします。

佐藤委員長

ほかに。

青山委員。

青山委員

私も大野委員と同意見です。よろしく願いします。

佐藤委員長

ほかに質疑はございませんか。

各委員

なし

佐藤委員長

続きまして、ほかにその他について何かございますか。

学務課長。

学務課長

それでは、学務課のほうから1件お願いいたします。

今の小倉台小学校の増築工事とかかわってくる問題なんです、通学区域制度の弾力的な運用ということで報告をしたいと思います。

小倉台小学校の児童数が増加して大規模化が進んでいることから、今、教育総務のほうから話がありましたが、敷地内に増築に向けた準備を進めているところですが、今後児童数の増加はさらに見込まれるということから、従来の通学区域は残したままで、保護者が内野小学校やあるいは原山中学校へ就学先の変更をする場合は、特段の理由がなくても学区外の就学を柔軟に認めていこうというものでございます。

対象校としては小倉台小と木刈中学校でございます。対象の地区としては、小倉台小の学区の中で国道464の南側に位置する地区でございます。戸神台二丁目、中央南二丁目、武西学園台の一丁目、三丁目になります。ここにお住まいのお子さんに限り、内野小学校、原山中学校への就学を希望される場合は、弾力的に認めていこうというものでございます。

次のページをあけていただくと、学級数、児童数の推計の表がございますので、ご覧いただければと思います。一番下が対象地区、464の南側の小倉台小学校区なんです、未就学児が今現在で合計704名ほどおります。相当の数のお子さんがこれから入学してくるといった状況でございます。

今後の予定なんです、来週の火曜日、7月19日に小倉台小学校の保護者会が開かれるんですが、その場で30分ほど時間をいただきまして先ほどの教育総務課の話、敷地内への増築についてと、それから今お話しした通学区域の弾力的な運用についての説明をしてこようと思っております。また、20日に対象の保護者宛てに、弾力的な運用についてということで通知文を配布していただく予定でございます。

すみません、1点そこの文章で「小倉台小学校及び木刈中学校」と書いてありますが、木刈中学校へは文書での通知は行いません。お知らせはしますが、文書での通知は小倉台小学校のみとさせていただきます。訂正をお願いします。

それともう一点、未就学児の保護者の皆さんを対象に、弾力的な運用についてのアンケート調査を無記名で実施したいと考えております。7月下旬から8月上旬ぐらいに実施したいというふうに考えております。調査内容については、そこの四角に書いてある内容でございます。調査結果は集計後に教育委員会議でご報告したいと思っております。

以上でございます。

佐藤委員長

ただいまの件につきまして、質疑はございませんか。

青山委員。

青山委員

小倉台小学校が児童数の増加で増築しなきゃならないような状況ですので、こういった通学区域制度の弾力的な運用をされるということは、保護者の立場から、子供たちの立場からも、非常に望ましいことではないかなと思います。内野小学校、原山中学校、やはりそちらのほうもたくさんの方に通っていただいていたほうが、ゆとりも出てまいりますし、内野小学校、原山中学校さんのすばらしい部分もありますので、ぜひ小倉台小学校、木刈中学校、それから内野小学校、原山中学校と、それぞれの学校の良さをアピールしていただいて、子供たちに内野小学校、原山中学校にも行っていただけるようにしていただけたらありがたいなど、決して小倉台小学校や木刈中学校に逃げているところはないと思いますので、弾力的な運用を図って適正な規模の学校になるようにしていただけるとありがたいというふうに思います。

佐藤委員長

ほかに質疑はございませんか。

大野委員。

大野委員

児童・生徒の今後の推移ということで2ページ目にあるんですが、このままの状況で小倉台小学校校区が存続するような形になると、木刈中学校の生徒の増加が、やはり同じように増加傾向に転じるということなんですが、現状の木刈中学校の中で、この平成34年度は863名を受け入れるだけの教室数はあるんでしょうか。

佐藤委員長

学務課長。

学務課長

最大の25学級になりますと、特別支援学級がこれに加算されますので、若干教室数が足りなくなる見込みでございます。

佐藤委員長

ほかに質疑はございませんか。

青山委員。

青山委員

教育委員会のほうの弾力的な運用の説明をする際の基本的なスタンスとしては、この464の南側のほうは、できたら内野小学校のほうに入学することをお勧めしますというスタンスでするわけですね。そういうことではないですか。やはり教育委員会としては、小倉台小学校のほうは非常に児童数が増えていて、学校生活を送る上でもプレハブでの生活を余儀なくされるというふうなことや、また、464を渡って、交通量が非常に激しいですから、小倉台小学校は通学上の危険性もあります。そういうふうなことから、もし弾力的な運用をやることによって、内野小学

校のほうに行っていたほうが、小学校の生活を送る上でも、または通学上の安全の上からも望ましいという、それは口頭ではなかなか言えないと思いますけれども、基本的にはそういうスタンスで進めるわけですよ。この点は内密にしたほうがいいのかもしれませんが。

佐藤委員長  
学務課長

学務課長。

学区の変更をしなかったのは、今言ったようにかなり多くの人たちが南側に住んでいますので、これを内野小学校とただ単純に変えてしまうと、今度は内野小が大規模校でパンクして、小倉台小は300ぐらいの学校になってしまうという、学区の変更は非常に難しいという状況があります。ですので希望される方が少しでも内野小学校を選んでいただけると、規模という観点から小倉台小学校にとってはいいなということでございます。

通学路の安全等については、危険なのでこっちということはなかなかこちら側は言えないんですが、ただ、中には464を渡るのはやっぱり危険だというふうに思っている保護者の方もいるので、そういう方には、安全なところにあります内野小学校をどうですかと、積極的に勧めていきたい気持ちではあります。

佐藤委員長  
青山委員

青山委員。

わかりました。非常にデリケートなところをお勧めしなくてはいけないと、よくわかります。

佐藤委員長  
各委員  
佐藤委員長

ほかに質疑はございませんか。

なし

それでは、その他、ほかに何かございますでしょうか。

指導課長

指導課長。

それでは、指導課からは3点お願いします。

まず、高花学校給食センターの給食再開につきましてですが、6月15日の定例教の翌日16日に、6月23日からの給食再開の文書を配布しました。無事6月23日より給食の再開を果たしております。明日が今学期の最終になります。

続きまして、いじめの重大事案につきまして、今後の取り組みと再発防止に向けたいじめ防止の拡大会議の第2回目を、昨日開催いたしました。今回は、当該校の保護者にも各学年から1名ずつ参加してもらい、貴重な意見をいただきました。なお、1学期のまとめと夏休みに向けての学級保護者会と学年保護者会を明日行います。このいじめの事案に向けての学校からの臨時全校生徒集会を19日火曜日、同日夜7時から臨時保護者会の第2回目を持ちまして、今後の対応について説明をいたします。

逮捕された生徒につきましては、現在、家庭裁判所に送致され鑑別所で観護措置が行われており、今月26日に家庭裁判所で審判が下される予定でございます。当日は学校からも職員が立ち会うというようなことに

なっております。

最後に、イングリッシュ・トレセンを来週21日、22日の2日間、平岡自然の家で実施いたします。昨年は1日日程で対象児童を変えて2日間実施いたしましたが、今回は2日間の日程で、抽選で選んだ60名で実施したいと考えております。

以上でございます。

佐藤委員長

ただいまの件につきまして質疑はありませんか。

寺田委員。

寺田委員

いじめの件なんですけれども、その家庭との接触というか、連携なんかはあるんですか。家庭訪問的な何か加害者と被害者に対して。

佐藤委員長

指導課長。

指導課長

加害者・被害者ともに学校に来て職員と相談というふうなことは、何度も実施しております。

佐藤委員長

ほかに質疑はありませんか。

青山委員。

青山委員

イングリッシュ・トレセンの件ですけれども、昨年より1日ふえて、しかも同じメンバーが2日間にわたってということで、内容も充実してきているんじゃないかなという気がしますけれども、ここに講師等で印西市国際交流協会の会員の方もお手伝いに入っているようなんですけれども、今年は何人ぐらいお手伝いに来られるのか。

佐藤委員長

指導課長。

指導課長

これにつきましては、昨年、小学校部門については10名近い方をお願いしましたが、冬の中学生のときには3名ほどの参加でした。今回も依頼はしていますけれども、それぞれ職業を持った方ですので、今、日程調整をして、まだ人数のほうはこちらに連絡はありません。予算としては、当日お弁当を用意するぐらいのことしかできないんですけれども、一応、今年もお願いしている次第でございます。

佐藤委員長

青山委員。

青山委員

やはりこういう事業というのは、継続していく中で、このトレセンを担うような人材を育てていくという姿勢が非常に大事だと思うんですね。そういう意味では、やはり講師の方がALTだけではなくて、継続して参加をしていただけるような例えば国際交流協会の会員の方ですか、またはお手伝いでそれ以外の方も参加していただけるような方が、トレセンの内容を年々充実させていくということにも意図してかかわっていただけると、さらに充実していくんじゃないかなと思いますし、かなり今までもその参加希望者が多くて調整しなければいけないというような状況で、ニーズも高いようですので、そういった内容の充実、それから、そういう指導者の指導力の向上ということに関してぜひ力を入れていただけると、さらにいいものになっていくんじゃないかな

というふうに思います。昨年より今年のほうが充実していくんではないかなというような気がしますので、大変心強く思いますので、よろしくお願い致します。

佐藤委員長  
各委員  
佐藤委員長

ほかに質疑はありませんか。

なし

学校給食センターの再開に、本当にご尽力をいただきましてありがとうございました。課長もお痩せになられて本当に心配しておりましたけれども、速やかに対処していただき、結構大ごとになすこみのほうでも騒がれるかなと心配したんですけども、速やかなクリアな状況で、隠すことなく対処ができていたということで、解決のほうに進んでいけばと思います。

イングリッシュ・トレセンのほうは、昨年、私の娘が参加させていただき、大変いい経験をさせていただきました。いまだにあのときいただいた表彰を、英語で書かれた参加証を大事にしています。この間のトレセンで、前半部分を参加させていただいたんですけども、やはり英語にそんなに耳なれしていない小学生は受付にすごく戸惑っていたように思います。そここのところでボランティアの国際交流の方々が、日本語を交えて年齢を書いたりグループ分けをしたりという、そこがすごく混乱していたかなという印象を受けましたので、多分その反省を生かされて速やかに行われるんではないかと思っておりますけれども、有意義なトレセンになりますことを願っております。

ほかに、その他ございますでしょうか。

生涯学習課長。

生涯学習課長

生涯学習課からは3件の事業について、報告及びご案内いたします。

初めに、青少年ふれあいキャンプについて、お配りいたしました資料のとおり、今月30日から31日の1泊2日で平岡自然の家多目的広場で実施いたします。応募の状況でございますが、定員100名のところ103人の応募がございました。現在のところ2名のキャンセルがあったため、101名の参加で実施する予定でございます。

次に、平成28年度の印旛郡社会教育振興大会でございますが、こちらのお配りした要項のとおり8月6日土曜日、成田市文化芸術センターで開催されます。印西市からは社会教育委員を中心に公民館運営委員、青少年問題協議会委員など、事務局職員を含めまして30人が参加する予定でございます。記念講演では明治大学教授の井田正道さんが、「18歳選挙権導入とその社会的影響について」を演題に講演を行います。18歳選挙権導入後初の選挙から約1カ月、興味深い講演が伺えるのではないかと考えております。

3つ目は、市制施行20周年記念事業ダンスパフォーマンスコンテストでございます。こちらもお配りしておりますが、今月31日の日曜日に文化ホールで開催されます。コンテストにエントリーしている団

体の数は、中学生以下の子供の部が17団体、高校生以上の一般の部が7団体で、「仲間」をテーマにダンスの技を競います。なお実行委員会からご招待状を預かっておりますので、会議閉会后お渡ししたいと思えます。お時間があれば各団体によります熱戦をご覧いただければと思えます。

以上でございます。

佐藤委員長  
各委員  
佐藤委員長

ただいまの件につきまして、質疑はございませんか。

なし

ほかにその他、何かございますでしょうか。

教育総務課長。

教育総務課長

それでは、次回の教育委員会会議のご案内でございます。

先ほどスケジュールのほうでございましたとおり、次回は8月5日金曜日になりますが、午後2時からこの会議場所で開催いたしますので、予定のほうを入れていただきたいと思います。

それからこの会議終了後、印旛明誠高校を見ていただきたいというふうを考えております。準備が整いますまで、休憩をしていただきたいと思います。よろしく願いいたします。

佐藤委員長  
(閉議の宣告)  
佐藤委員長

これで日程第6 その他を終わります。

以上で、本日の日程は全て終了いたしました。

会議を閉じます。

(閉会の宣告)  
佐藤委員長

これで、平成28年第7回印西市教育委員会定例会を閉会いたします。お疲れさまでございます。

(15時12分)

印西市教育委員会会議規則第31条の規定により、上記会議の顛末を録し相違ないことを証するためここに署名する。

平成28年7月14日

委 員 長                      佐 藤    め ぐ み

署 名 委 員                    大 野    忠    寄